

化学物質等及び会社情報

会社名： 株式会社 タイトリ 本社

住所： 〒520-0242

滋賀県大津市本堅田5丁目4番32号

担当部門： 工場技術部

電話番号： 077-573-2123(代)

ファクシミリ番号： 077-573-7823

更新日： 2020年3月23日

MSDS番号： 00201-15

製品名： タイトリ・ペースト

弊社型番： 例) TPS-600G、(600g 缶入・数字は内容量を示す) 他に、-16KG、-70G、

容器、及び製品外観： 容器=スチール缶入(内面コーティング) 製品=白色～黄褐色ペースト状

組成・成分情報

単一製品・混合物の区別： 混合物

化学名： ワセリン混合物

成分及び含有量	白色ワセリン 70% (65～75%)	脂肪酸 5% (0～10%)	パラフィンワックス 10% (5～15%)	水 5% (0～10%)	塩化亜鉛 10% (5～15%)
化学特性	非公開	非公開	非公開	H ₂ O	非公開
官報公示整理番号 化審法	対象外	非公開	(8)-414	対象外	1-264
" 安衛法	12-261	既存扱い	非公開	対象外	既存扱い
CAS No.	8009-03-8	非公開	8002-74-2	7732-18-5	7646-85-7
PRTTR法 指定化学物質	該当せず	該当せず	該当せず	該当せず	第一種指定 1

() 内、lotNo.ごとに多少の変動あり

GHS分類：ラベル要素

製品表示：



多量に扱う場合：



製品の使用、作業時の注意

保護メガネ、防毒マスクまたは濡れマスク等、手袋、手筒、前掛け等の保護衣を着用すること。

加熱による煙を、吸わないようにすること。十分換気すること。ヤケドやケガに注意すること。

危険有害情報

分類の名称： 飲み込むと有害(経口)・重篤な皮膚の腐傷・眼の損傷

呼吸器系の障害・長期継続的影響より、水生生物に毒性

応急処置

吸入した場合： 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

直ちに医師に連絡すること。医師の手当、診断を受けること。

目に入った場合： 直ちに清浄な流水で数分間、注意深く洗眼すること

(できればコンタクトレンズをはずして)

ばく露や、ばく露の懸念がある場合、速やかに眼科医の手当、診断を受ける。

皮膚に付着した場合： 製品に触れた部分を水及び石鹼、アルコールなどで十分に洗う。

飲み込んだ場合： 口をよくすすぎ、直ちに医師の手当、診断を受ける。

意識のない場合は、無理に吐かせてはいけない。

予想される急性症状及び遅発性症状

肺水腫を起こす。肺水腫の症状は、遅くなって現れる場合が多く、安静を保たないと悪化する。

吸入した場合： 咳、咽頭痛、灼熱感、息苦しさ、息切れ。症状は遅れて現われることがある。

火災時の措置

特定の消火方法： 粉末消火剤、一般の泡消火剤、二酸化炭素、砂、噴霧水

消火を行う者の保護： 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学保護衣を着用する。

特有の危険有害性： 火災によって刺激性、腐食性又は毒性のガスを発生するおそれがある。

漏出時の措置

人体に対する注意事項： 漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用する。

環境に対する注意事項： 漏出物を直接河川や下水に流してはいけない。

除去方法、回収： 少量の場合は、雑巾、ウエス等で拭き取る。多量の場合、漏出したものをシャベル等ですくいとり、密閉容器に回収する。

取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策： 保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。容器を転倒、落下、衝撃を加え、または引きずる等の乱暴な取り扱いをしてはならない。

注意事項： 取扱う場合は、局所換気内で取扱う。

安全取扱注意事項： 機器類は、防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。

保管・適切な保管条件： 容器は高温及び多湿下での保管を避け、密閉して屋内一般倉庫に貯蔵する。

安全な容器・包装材料： スチール製、もしくはプラスチック製の密閉容器

暴露防止及び保護措置

設備対策： 換気をよくする。または局所換気装置を使用する。または密閉された装置、機器の使用

管理濃度： 未設定

許容濃度： 日本産業衛生学会(2001年度版)、未設定

ACGIH(2001年度版)、1mg/m³ (塩化亜鉛フューム)

保護具： 呼吸用保護具： 防塵マスク・ヒューム回収機能付マスク※（※主に、こてによる加熱作業時）

目の保護具： 保護メガネ・保護ゴーグル※

手の保護具： ゴム手袋、ニトリル手袋、革製手袋など ※

皮膚及び身体の保護具： 静電気防止用作業服、保護長靴、保護前掛けなど ※

物理的及び化学的性質

物理的状態： 形状：固体 色：白色～黄褐色ペースト pH：該当しない

温度範囲： 融点： 約 40℃ 引火点： 230℃

爆発特性： データなし

密度： データなし

溶解性： 水に塩化亜鉛が溶出の恐れ、有機溶剤に可溶

安全性及び反応性

安定性: 常温、常圧で安定。

反応性: 自己反応性なし。

危険有害反応可能性: 強酸化剤と反応する。

避けるべき条件: 必要以上に加熱しない。

環境影響情報

水生環境急性有害性:

方式1: 加算式藻類 計算結果= 計算値; 0.135 mg/l、分類区分; 区分1、毒性乗率; 1

加算法藻類; 濃度限界 (25%) 以上のため、区分2 に該当。

水生環境慢性有害性:

方式1: 加算式藻類 計算結果= 計算値; 0.00325 mg/l、分類区分; 区分1、

毒性乗率; 1

加算法藻類: 濃度限界 (25%) 以上のため、区分2 に該当。

有害性情報

急性毒性: 経口計算結果ATE_{mix} = 646.8 mg/kg のため、区分4 に該当。

皮膚腐食性・刺激性: ウサギの皮膚刺激性試験で表皮表層の炎症性変化や潰瘍が認められるため
区分1とした。

重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷: 区分1

眼に対する重篤な損傷・刺激性: 事故で眼に濃縮塩化亜鉛のばく露を受けたヒトの報告、2 例。

(浮腫に次いで永続的な角膜瘢痕化に至り、回復に6~28週を要した)

重篤な眼の損傷: 区分1

呼吸器感作性: 分類できない。

皮膚感作性: データなし

発がん性: 現在、塩化亜鉛の発がん性について分類区分を定めている機関はない。分類できない。

生殖毒性: データ無し。

単回ばく露: ヒトで吸入ばく露後に肺の動脈閉塞と線維化、チアノーゼ、ARDS症候群、
などが報告されている。区分1 (呼吸器系) とした。

反復ばく露: データ無し。

吸引性呼吸器有害性: データなし

廃棄上の注意

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行なっている
場合は、そこに委託して処理する。

廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

輸送上の注意

国内規制: 消防法、指定可燃物(可燃性固体類)

国内規制陸上規制情報: 火災予防条例(指定可燃物, 可燃性固体類)

航空規制情報: 非危険物

海上規制情報: 非危険物

輸送の特定の安全対策及び条件: 直射日光を避け、荷崩れの防止を確実に行う。

適用法令

労働安全衛生法: 通知対象物(固形パラフィン、塩化亜鉛)

P R T R法: 塩化亜鉛(第一種指定)

消防法: 非危険物

市町村火災予防条例: 指定可燃物可燃性固体類

水質汚濁防止法: 指定物質(塩化亜鉛)油分排出規制(5mg/l許容濃度)

大気汚染防止法: 有害大気汚染物質(塩化亜鉛)

海洋汚染防止法: 油分排出規制(原則禁止)

下水道法: 水質基準物質(塩化亜鉛)鉱油類排出規制(5mg/l)

産業物の処理及び清掃に関する法律: 産業廃棄物規制(拡散, 流出の禁止)

主な引用文献

「13398の化学薬品」(化学工業日報社)

製品安全データシートの作成指針(日本化学工業協会)

既存化学物質データ要覧海外技術資料研究所

石油製品安全データシート作成の手引(石油連盟)

日本化学会編, 化学防災指針3, P 83~105, 丸善(1979)

EC理事会指令(67/548/EECの付属書I危険な物質リスト)

ACGIH (7th, 2001)

- ここに記載された情報は、弊社所有のデータや種々の技術出版物に記載のデータに従ったものです。本製品をご使用になる場合は、使用者がその責任においてこの情報をご活用ください。尚、注意事項は通常取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合は用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。
- 記載された情報は現時点での最新情報によるものですが、今後法律や規制などの改正、新たな毒性試験結果の公表などにより、改訂がありうることをあらかじめご了承ください。
- 本製品を使用される環境及び条件については弊社がコントロールできないため、この情報の使用によって直接的、又は間接的に損失若しくは損害が生じたとしても弊社はいかなる責任も負いません。又、特許侵害に対する免責等を保障するものではありません。

以上